

# ink 広島

VOL.420

令和3年8月

発行/広島県印刷工業組合

発行人/中本 俊之

広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954

URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : [h.inkumi@estate.ocn.ne.jp](mailto:h.inkumi@estate.ocn.ne.jp)

## ◆作成コンセプト◆

コロナウィルスの影響で印刷物も半減し、冷え込んでしまいました。先の見えない状況下ではありますが、笑顔をつなぐ明るい未来に、ハッピースマイル! 夢のある未来、これからの印刷について笑顔で語り合おう! そうすれば道は開ける!

最優秀賞(グランプリ)

株式会社 原色美術印刷社 阿部 浩志氏



第16回 2021印刷産業夢メッセ開催決定

常任・拡大理事会開催

令和3年度上期中国地区印刷協議会開催

各委員会報告

福山支部だより

事務局だより

広島ガーデンパレス  
10/22(金)・23(土)  
〒732-0052 広島市東区光町1丁目15-21  
Tel.082-262-1122 Fax.082-262-5270

第16回  
2021  
印刷産業



主催 広島県印刷工業組合・中国印刷機材協議会

共催 2021印刷産業夢メッセ実行委員会

協賛 広島県洋紙商連合会 / 広島県製本工業組合 / 中国グラフィックコミュニケーションズ工業組合 / 日本グラフィックサービス工業会広島県支部 / 中国地区印刷協議会

「2021印刷産業夢メッセ実行委員会開催」

## 第16回目の2021印刷産業夢メッセをリアル開催決定！

コロナ禍での開催について色々と検討を重ねた結果

6月29日(火)午後1時30分より、広島印刷会館会議室に於いて夢メッセ実行委員会がメンバー12名出席し開催された。

この夢メッセ開催についてはコロナ禍でもあり開催に当たっては遅くとも6月末までには結論を出さなければならぬと当初から決めており、広島でも新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が発令されたが、ワクチン接

種も始まり東京オリンピックも開催されることとなり、夢メッセもリアル開催すると全員一致で決定され、改めて、出展・広告の依頼を再度発送することとなった。

昨年は中止となりましたが、今年は開催しますので組合員の皆さまもご協力をお願いします。

「役員会レポート」

## 第2回常任理事会・拡大理事会開催

6月29日(火)午後2時30分から常任理事会、午後3時から拡大理事会が広島印刷会館会議室で開催され、常任理事会には理事長、副理事長、常任理事7名が、続いて行なわれた拡大理事会には理事、監事18名が加わり25名が出席した。

中本理事長から「新型コロナウイルスのワクチン接種が少しずつですが動き出しています。今年秋には長野で全国大会が開催されます。今回は広島大会となりますので今回は実行委員会のメンバーで「きんさい広島！」と銘打って大勢の人にPRを行い、広島開催での自分たちの運営をどのように行うかしっかり見て参考にしてきてほしい。そして、全印工連から「INSATSU 未来トランスフォーメーション 産業成長戦略提言 2021」という冊子が配布されました。我々の未来を想像しています、是非読んでみてください。最後になりましたが、いろいろ検討した結果、今年は夢メッセはリアル開催でやります。皆様のご協力が無ければ成功できません。よろしくをお願いします」と挨拶があり、議事に入った。

### 【議題】

- (1) 令和3年度上期中国地区印刷協議会報告について各委員長から簡単に報告
- (2) 2021印刷産業夢メッセについてリアル開催を決定したのでご協力をお願い
- (3) 「INSATSU 未来トランスフォーメーション 産業成長戦略提言 2021」の配布についてトランスフォーメーションとは〇〇を一新する
- (4) 「印刷の月」のメモ帳について手配りは中止、組合員には従来通りあとは支部長に任す
- (5) その他  
中央会からの「平成29年度中小企業労働事情実態調査票」の協力について



あしたへチャレンジ! Go! Go! Go!

新時代に  
魔球は



秘密の  
いかがですか  
.....



コンピュータと人間の共存を目指します。  
中川印刷株式会社

広島市西区横川町2丁目8番5号 〒733-0011  
TEL (082) 291-3841 FAX (082) 295-0868  
E-mail: info@nakagawa-print.jp

日々の暮らしを豊かに彩る  
佐々木の3年日記 & 手帳

 SASAKI  
Diary



佐々木印刷株式会社

〒728-0023 広島県三次市東酒屋町306-55  
TEL 0824-62-3539 FAX 0824-63-2829  
URL <http://www.sskp.co.jp>



令和3年度上期

## 中国地区印刷協議会開催

～コロナ禍によりZoomで～

昨年同様コロナ禍により令和3年度上期中国地区印刷協議会を6月18日(金)、Zoom会議により開催された。当初は周南市で予定していたが、リアル会議はこれにより3回連続で中止となった。

会議は、午後1時30分より開催され、全印工連から、鳥原久資副会長、瀬田章弘副会長、池尻淳一専務理事、そして、福田浩志常務理事が、また、中国五県の各工組から理事長、役員、事務局長など45人が出席された。

始めに、中本会長挨拶、鳥原全印工連副会長挨拶等があり会議に入った。

### 会議次第

- ・中国地区印刷協議会会長挨拶 中本俊之
- ・全印工連会長挨拶 副会長 鳥原久資
- ・全印工連事業説明 専務理事 池尻淳一
- ・「INSATSU 未来トランスフォーメーション  
ー産業成長戦略提言 2021ー」の説明  
副会長 瀬田章弘



- ・各委員会報告(中国地区の各委員長より)
- ・令和2年度収支報告、令和3年度の予算(案)の件  
報告のとおり承認
- ・次回開催場所

令和4年2月18日(金)広島市に於いて開催

- ・その他

以上を午後4時に終了したが、引き続き理事長会を開催し5時前に全部の会議が終了した。

また、各分科会については後日Zoom会議で次のとおり開催された。

【組織共済委員会】	6月22日	7名出席
【環境労務委員会】	6月23日	9名出席
【教育研修委員会】	6月24日	11名出席
【経営革新マーケティング委員会】	6月25日	10名出席

### 【中本俊之 中地協会会長挨拶要旨】

## アフターコロナに備えて新しいことにチャレンジ!

まずは、新型コロナウイルスですが、広島・岡山に出されておりました緊急事態宣言も昨日の発表で、6月20日で解除ということになり、気になるワクチン接種のほうも、65歳以上の1回目の接種が始まり今後に期待したいものです。



さて、印刷業界は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、イベントや展示会の開催中止、消費マインドの悪化で受注や売上げが減少して、大変厳しい経営環境が続いております。特に心配されることが、印刷物の価値が改めて問われているということです。これからの印刷業界は、お客様の売上げに直接貢献できる印刷物や、経費削減ができる提案ができるか。つまり、どうやって売上げや利益に貢献していくのか。そして、少し値段が高くても付加価値をしっかりとお客様に理解していただき、差別化を図っていくことが大切であろうかと思えます。

この1年、ウイズコロナで元に戻るもの、戻らないものなどは、多くを経験してきました。元に戻るはずの失われた雇用や、企業の売上げ、経済活動の多くが第4波でいまだに戻ってきておりません。コロナ危機による新しい価値観として、過度な密集・密接・密閉を避けて、人と人との距離を保つ分散がもたらす新しい価値に気付かされました。従来、企業の営業活動は

対面で行われていましたが、オンラインによるコミュニケーションが大きく増加いたしました。非常に厳しい状況ながら、これに対応しようとするさまざまな変化が表れております。

次に、2020年の工業統計の速報によりますと、従業員数が4名以上の印刷・同関連業は、事業所数、従業者数は前年より減少しましたが、出荷額は前年とほぼ同額の4兆8,200億円代を維持し、付加価値額は前年より0.1%の増加。そして、1事業所平均も出荷額がプラス2.6%、付加価値額はプラス2.8%いずれも増加しました。

続いて、2020年の紙・板紙の出荷量の件は、残念ながらこちらのほうは前年比で8.4%減、新型コロナウイルス感染拡大によりリーマンショックの影響を受けた2009年以来の大幅減少となっております。2021年の紙・板紙の出荷量は、前年比で0.8%増になると予測されております。情報紙媒体としての紙は、前年の反動増となると見込まれますが、需要はコロナ禍の前には戻らないと予測も出ております。

そして、アフターコロナという言葉、最近よく耳にするかと思えます。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し売上げの回復が難しいなか、ウイズコロナ、アフターコロナの時代の経済社会の変化に対応するために、新しい事業展開が必要です。そのためにも人材育成が重要になってくるかと思えます。これからは、

自社の経営資源とパートナー企業の経営資源を組み合わせ、新しい新たな価値を生み出すことが重要になってくると思われます。自社の強みや弱みを再確認して、新しいことに挑戦するような人材育成を行っていくが必要になってくるのではないのでしょうか。

我々中小企業は、確かに今は非常に厳しい時ではありますが、人や物に投資をしてアフターコロナに備える時だと思えます。社会が目まぐるしく変容するなかで、新しいことにチャレンジをする。今それをする企業としない企業では、後々大きな差が開いてしまうと思えます。

いま国のほうもコロナ対策として、事業を守る、雇用を守る、生活を守るなど多くの支援策を打ち出しています。経済産業省でも、コロナの影響を受けている事業所に対して、資金繰り、設備投資、販路開拓、経営環境の整備についていろいろな支援策を打ち出しています。例えば、今話題の事業再構築補助金があります。新分野展開、事業・業種転換など、事業再構築に

意欲のある中小企業を支援するものです。中小企業なら補助率が3分の2で、6,000万円までの補助が受けられます。

今朝の新聞で、第1回目の公募分が発表になっております。申請件数が2万2,231件のうち、8,061件が採択したと出ておりました。採択率は36.1%。物づくりの補助金が、採択率が31%ですので、それよりは採用率は高いのかなと思います。年度内は、残り4回まだ公募があります、既にもう取り組んでいる会社もあるかと思えますけれども、投資のチャンスかもしれません。

最後に、今年の2月の下期の中国地区協でも話をしましたけれども、厳しい時だからこそまずはやってみる。これを有言実行しようではありませんか。皆さんにとって、「今日いいことを聞いたな」と言ってもらえる時間となることを祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【鳥原久資副会長挨拶要旨】

### 人材育成、デジタルトランスフォーメーションの構築に向けて

新型コロナウイルスにつきまして、ワクチン接種も徐々に進行していることもあり、終息にはまだ多くの時間を要するとはいえ、少しずつ経済活動がまた動き始めているのではないかなと感じております。こうした状況のなかで、各工組、各地区協の事業運営については、日頃から役員・組合員の皆さまには非常にご苦勞をいただいております。この場を借りまして、厚く御礼を申し上げます。

ニューノーマル時代におきまして、全印工連では各県工組との連携、そして協力体制の一層の強化を図りながら、本年度も力強く事業の推進に努めてまいりたいと考えております。

さて、全印工連では、昨年度DX推進プロジェクトチームで進めておりました組合員同士の生産連携と高効率化を図るためのDXプラットフォームシステム「DX-Plat」の開発を終えました。本年度は全国モデル地区でのトライアル実施を重ねまして、本格稼働に向けたシステム改修や運用制度設計に取組み、印刷産業全体の構造改革をもたらし、新しい産業の姿を構築することを現在目指しております。

また、先ほど会長から人材教育のお話がありました。遠隔教育によるオンラインや動画による教育機会を求める多くの組合員の日頃からの要望があるということも踏まえ、全国の組合員の人材教育に資することを目的に、経営者・社員向け教育コンテンツ動画の視聴を可能とする教育動画サイト「印カレ～全印工連の学んで得するTV～」を5月に開設し、運用を始めております。

「印カレ」はコロナ禍で教育動画へのニーズが高ま



る現状におきまして、全国の組合員により簡単に見たい動画を、パソコンはもとより、スマートフォンやタブレットでも視聴できるものと考え、社内勉強会や社員のスキルアップ、自己啓発にお役に立てるよう期待しております。今後搭載コンテンツも充実を図ってまいりますので、積極的にご活用いただき、次世代に耐え得る人材育成に、是非ご活用いただきたいと思えます。

また、本日はこの後、全印工連の産業戦略デザイン室で、昨年1年を通じて議論を重ねて取りまとめた、成長戦略提言書「INSATSU 未来トランスフォーメーション 産業成長戦略提言 2021」の概要をご説明します。本提言書は今後のニューノーマル時代における各印刷会社の業態変革、そしてソリューションプロバイダーへのさらなる進化を遂げるためのトランスフォーメーションについて考察されています。各社引き続き、地域社会、そしてお客様にとって必要とされ続けるために、同質化競争から脱却し、独自の価値を提供する魅力あるパートナー企業として認知され、ワンストップサービス、高付加価値サービスを追求し、お客様の課題解決型企業となるそうした経営者が今行うべきこと、人材戦略などをこの提言にまとめられています。既に組合員各社に配布しておりますので、積極的にご活用いただきたいと思えます。

結びにあたりまして、本年も各地区印刷協議会との連携を通じまして、全印工連の組織力を存分に生かした事業に取組み、印刷産業の持続的な発展と豊かな社会生活を創造するHappy Industryの実現に向けてまい進してまいります。これからもさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



## 《全印工連の事業説明》

池尻淳一専務理事

まず、全印工連の総会、並びに理事会のご報告です。令和2年度は、コロナの関係から全印工連の紹介、それから各委員会等ハイブリッドとか、それからリモートでの対応となりました。また、長野で開催を予定しておりました印刷文化典とか、SR調達のシンポジウムをやむなく開催を延期するなど、全印工連としては非常に厳しい運営を強いられた年となっています。

そのようななかで、成長戦略提言書の発行とか、それからDXシステムのプラットフォームの構築、また、経営セミナーのウェブによる全国展開、労務セミナー動画の無料配信とか、積極的にさまざまな事業を進めていくことができたと思っております。

令和3年度の事業計画ですが、まず、最初の産業戦略デザイン室は、環境の変化に対応して新しい価値を創出するための理論をずっと行ってまいりましたが、おかげさまでもちまして5月末に提言書を制作・発行をいたしました。次にデジタルトランスフォーメーションのプロジェクトチームですが、昨年度決算書、国の補助金とそれからメーカーからの協賛金を活用して、システムのプラットフォーム、「DX - Plat」と言いますが、その開発が完了しました。本年度からはいよいよ全国のモデル地区でトライアルの運用を順次実施していきたいと考えています。

経営革新マーケティング委員会ですが、本年度も各種セミナーの全国提供を積極的に進めます。なお、このセミナーにつきましては、東京工組のほうで本年度今16回のセミナーを計画しておりますので、これできるだけ昨年度と同じように全国の皆さんにご提供していきたいと考えています。また、各県工組で開催されるセミナーがありますが、これにつきましても、できるだけ全国の皆さんにご提供できないか、あるいはアーカイブでご提供することができないかといったようなことを考えて、連携を図っていきたいと考えています。

環境労務委員会のほうでは、労務セミナーの「幸せな働き方改革」のステップ2から5まで4本と、もう1つ「知らなかったでは済まされない」、労基法のセミナーがありますが、計5本の動画を昨年度作成して、現在無料で公開をしておりますので、これは後ほど説明する「印カレ」のほうからご視聴をいただきたいと考えています。

組織共済委員会では、本年度は「医療・がん共済」に加えまして介護共済が新たに加わりましたので、この周知の徹底と加入促進のほうをお願いしていきたいと考えています。併せてコロナ対策もありますが、BCP対策の周知も積極的に支援をしていきたいと考えています。



教育研修委員会ですが、もう昨年から急にオンラインの活用というものが高まりましたので、いま全印工連でやっております印刷営業講座と、それから技能検定のDTPの職種の学科試験の対策セミナーのオンライン化の検討を始めました。また、いよいよ全印工連の「学んで得するTV」を5月19日から運用を開始しましたので、今後教育研修委員会としては、この「印カレ」というものを軸に教育環境づくりを進めていきたいと考えています。先ほど説明した労務セミナーも、全て「印カレ」のほうからご覧いただくことが可能です。ただ、この「印カレ」につきましては、全印工連のメールマガジン、これは毎週1回必ずお届けをしていますが、この中でコンテンツとかパスワード等をお知らせしておりますので、まだ登録をされていない方は全印工連のホームページからメルマガの配信のご登録をお願いします。

CSR推進委員会ですが、本年度は一昨年、昨年と準備を直前まで進めながらも開催を延期したSR調達シンポジウムを9月10日に和歌山県で、また、CSRのサミットを来年の初めに横浜市で、それぞれ行政との連絡強化を目的として開催をしますので、是非ご参加をお願いします。また、MUDの推進につきましては、MUDのコンペティションを全印工連でやっておりますが、このブランディングを目的として現在このMUDコンペティションそのものに対して、グッドデザイン賞の取得を申請中です。また、今回MUD協会さんのほうでオフィス文書のユニバーサルデザイン講座と、それからMUDのアドバイザー検定のオンライン化が2月1日からスタートしています。これまでは会場に集まっての受講ですけれども、これからは自宅とか会社から受験・受講が可能となりました。これは8月31日まで特別キャンペーンで安く受講・受験ができるということですので、是非ご検討をお願いしたいと思います。

官需対策協議会は、本年度は全国協議会を開催する年にあたります。

あと、トピック的なことで産業戦略デザイン室の対外広報プロジェクトの「大喜利印刷」です。先月の19日に関東地方のほうでは日本テレビの「ぶらり途中下車の旅」という番組で「大喜利印刷」が取り上げられて放送されました。また、5月31日には、朝日新聞の全国紙の夕刊の一面に取り上げられましたので、ご報告します。以上です。



【各委員会報告】

『経営革新マーケティング委員会』

細川 俊介 委員長



令和3年度の事業計画ですが、3つの柱としています。

1つ目の、経営革新支援事業に関しては、まずデジタルトランスフォーメーション実装の推進、事例研究、情報発信等です。

2つ目は、「ソリューションプロバイダー展開を支援するための情報発信」、それぞれ東京都工組さんから情報が事前に出ますので、是非皆さん、このWebを有効活用し聞いていただければと思います。また、「経営戦略策定の事例研究、情報発信」は、4回シリーズのセミナーが9月から開催予定で、今準備を進めています。そして、「新・勝ち残り合宿ゼミ」の開催、当初7月の予定でしたが、11月もしくは来年の1月から2月頃に延期し実施予定です。次に、「事業承継M&A支援事業」、事業承継支援センターの活用推進と啓発は、印刷業界のための事業承継セミナーの開催、また、事業承継ガイドブックの周知、そして、地域創生事業の推進、印刷業経営動向実態調査の実施及び分析、CSR認定事業の普及と啓発という事業を進めていきます。

次に、3つ目の「マーケティング支援事業」は、デジタル経営の事例研究、情報発信は、これは今週の月曜日に1つセミナーが終了していますが、福永紙工様と篠原紙工様の考える「デザインと経営」ということで開催されました。私も聞きましたが、非常に有意義なデザイン経営とはどういうものかということ、それぞれの講師の方々がその立場でトライ&エラーを繰り返しながら、少しずつ、少しずつ進められているということがひしひしと伝わってきたいいセミナーだったと思いました。是非、皆さまもご活用いただければと思います。その次に、もう1つデザイン系の講習セミナーとして全4回の開催予定で、7月から田子學さんという講師の方のデザイン経営のセミナーがあります。これも是非ご参加いただきたいと思います。

それから、異業種・同業種マーケティングに関する事例研究、情報発信は、10月に予定をしております、昨年の暮れに開催しました佐藤可土和様の奥さまで

リエイティブディレクターの佐藤悦子様のセミナーの開催を予定しております。

そして、その他共創ネットワーク通信の活性化と機能強化、下請法適正化の推進、『PRINT ZOOM』の発行協力などが経営革新マーケティング委員会の事業となります。

その他、「事業承継支援事業の周知」で、これは事業承継支援センターが今年度6月の初旬の段階までで契約が15件、問い合わせが99件ということで聞いております。また、事業承継ガイドブックに関しましては、ケース別で事業承継のフローチャートが載っておりますので、自社の状況を把握でき、事例も豊富に収録しておりますので、是非お買い求めいただければと思います。

また、事業承継セミナーに関しましては、各県工組での開催もご検討ください。こういう厳しい時ですから、是非、このようなこともご活用いただければと思います。

それから、「印刷業経営動向実態調査の実施と普及」、これは令和3年度の調査を11月頃開始予定です。ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

『環境労務委員会』

中川 隆 委員長



まず初めに、職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のための取組みの5つのポイント

- ・テレワーク・時差出勤を推進しています。
- ・体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルールを定め、実行できる雰囲気を作っています。
- ・職員間の距離確保、定期的な換気、仕切り、マスク徹底など、密にならない工夫を行っています。
- ・休憩所、更衣室などの“場の切り替わり”や、飲食の場など、「感染リスクが高まる『5つの場面』」での対策・呼びかけを行っています。
- ・手洗いや手指消毒、咳エチケット、複数人が触る箇所の消毒など、感染防止のための基本的な対策を行っています。

以上を確認しましょう、これは事業所において新型コロナウイルス感染症対策を実施するために基本的

RICOH Pro C7210s/C7200s  
 ネオンイエロー・ネオンピンク・ホワイト・クリア印刷対応  
 最大360g/m<sup>2</sup>の厚紙印刷対応  
 330.2×1,260mm長尺印刷対応  
 レザックや封筒など様々な用紙への対応力UP

ビジネスを革新する表現力  
**Value special Color**

RICOH  
 imagine. change.

リコージャパン株式会社 PP事業部 中国グループ  
 〒730-0013  
 広島県広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー15F  
 TEL:082-511-2475 FAX:082-511-2702

**Duplo**  
 from print to documents

デュプロ株式会社 広島支店  
 広島市西区南観音5-14-6  
 TEL 082-295-0022

項の確認を行うためです。それぞれ感染対策の基本事項ですので、実施をしていない事項がある場合は、これを参考のうえ対応を検討して実施をしてください。

続きまして2番目。厚生労働省「正社員と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差は禁止になります」。これは2021年4月より、中小企業でも正社員と非正規雇用労働者の間の不合理な待遇差は禁止となりました。都道府県労働局では、雇用管理の改善に向けた支援を行っています。労使間でトラブルになった際には、無料非公開の紛争解決手段も利用できます。正社員とパート、契約社員の職務内容の比較のしかた、待遇差の説明の方法、また、その見直し方。利用できる助成金等でお悩みがある場合は、働き方改革支援センターへご相談ください。また、専門家が事業所へ伺って制度の見直しを行う支援もあります。相談等は全て無料で、オンライン相談にも対応していますので、是非活用してください。

3つ目。厚生労働省「令和3年5月・6月の雇用調整助成金の特例措置等」。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年4月30日までの期限に雇用調整助成金の特例措置が講じられていますが、一部の内容を変更して特例措置が延長されています。判定基礎期間の初日が令和3年5月以降の場合は、支給申請様式が変更されています。厚生労働省のホームページに掲載している最新の様式で提出をしてください。なお、ご不明な点は、雇用調整助成金コールセンターまで問い合わせてください。

4つ目。厚生労働省「固定残業代を賃金に含める場合は、適切な表示をお願いします」。近年、募集要項や求人票の固定残業を含めた賃金表示をめぐるトラブルが見受けられ、主に若者世代が就職先の企業を選択する際に、正確な労働条件の表示が重要となり、若者雇用促進法に基づく指針で、固定残業代について適切な表示をするように定められています。事業主は、求人募集の段階に固定残業代を明示して提出するようお願いいたします。

続きまして、依頼事項ですが3つあります。環境経営の推進に向けて全印工連では次の3つの認証・認定制度の取得支援を行っています。企業の体質の強化、取引先や消費者へのアピールのために各種認定制度の取り組みを行ってください。

1つ目はGP(グリーンプリンティング)認定制度です。日印産連が運営している、環境に配慮した印刷工場を認定する制度は、現在印刷業全体で422工場。そのうち全印工連の会員の中では244の工場が認定されています。現在9月の認定の募集を行っていますので、環境経営の推進、企業のイメージアップ等に活用してください。

2つ目、「環境推進工場登録制度」。全印工連では先ほどのGP認定の前段階として比較的取り組みやすい環境制度、環境推進工場の運営をしています。取得には環境推進工場の講習会の開催が必要となります。講習会の開催の検討をしていただきたいと思います。

3つ目、ISO14001取得支援事業「ネットEMS」です。全印工連では、インターネットを利用した環境マネジメントシステム「ネットEMS」も運営をしています。国際的な環境認証ISO14001を安価で通常より短い期間で取得でき、マニュアルや規定の作成・保存、一部分の審査等をインターネットで行うことが可能となりますので、大手企業との取引などISO14001が必要な場合は、この「ネットEMS」を申し込んでください。

続きまして、労務セミナー「幸せな働き方改革セミナーの周知・開催」。環境労務委員会では、知らなかったでは済まされない働き方改革。労働法と労働基準法改正セミナー令和3年度版と、幸せな働き方改革へ向けてステップ2から5の各セミナーを今年度も実施いたします。「知らなかったでは済まされない労働法と労働基準法改正案セミナー」では、最新の法改正に対応した情報を提供しています。これまで既に開催している県工組でも、また、開催をしていない工組でも、是非、開催の検討をしてください。

また、働き方改革セミナーでは、どのステップの内容からでも開催の受付は可能となっていますので、開催を検討してください。

また、これらのセミナーは教育動画サイト「印カレ」に動画として格納されています。動画は講師のレクチャーの部分を中心としたものとなっています。参加型のセミナーを受講されない方は、是非視聴してみてください。

※『組織共済委員会』・『教育研修委員会』・『CSR推進委員会』の報告は次号にて掲載予定

**経営を変え、利益を生むSONORA** 

完全無処理 CTP プレート  
**KODAK SONORA CX2/NX2**

日本全国 47 都道府県で 550 社超。その進化は止まらない。  
日本市場のニーズに応えるべく、常に改良を重ね進化を遂げてきた SONORA。他の追随を許さない「視認性」はもちろん、「機上現像性」、「耐刷性」、「耐傷性」、「UV 印刷適性」を高次元で実現。

**コダック ジャパン** <http://www.kodak.co.jp>  
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町2-1-43 TEL.050-3819-1266

 **G.P.S** **one source/multi useの展開**

総合印刷機材 **(株)ゴプス**

〒733-0833 広島市西区商工センター1丁目4-29  
TEL082-279-9400 FAX082-279-9402



今年の「広島県印刷優勝野球大会」は中止となりました！

新型コロナウイルスの影響を考慮し、4月の段階で、11月開催への延期を決定しておりましたが、現状を鑑みると、広島県内での感染者発生状況はかなり落ち着いた状況ではありますが、コロナワクチンの接種状況は期待するほどの進捗もなく、首都圏では再度の緊急事態宣言の発出も予定されなど芳しくない状況にありますので、誠に残念ですが大会中止の結論となりました。来年5月には2年間のうっづんを晴らすためにもぜひ開催したいと思います。ご期待ください。

【福山支部だより】

3か月ぶりの例会、夢メッセに向けて

7月13日(火)、福山支部価値組委員会の7月(第213回)例会を開催しました。5月、6月と例会の開催を見合わせていたので、3か月ぶりの例会となりました。

状況によってはリアルでの開催がどうなるか？というのがありますが、8月、9月、そして10月までの行事予定の確認をるところからスタート。そして今回の1番の議題は、10月の夢メッセで福山支部価値組委員会として例年持たせて頂いている1コマの企画をどういう風にするか？という事でした。

事前に役員で情報共有しても、なかなか良いアイデアが浮かんでこない(苦笑)。それでも例会というみんなが集まる場になると、ポン！と良いアイデアを言ってもらえたりする。それもいろいろ話が出て検討した産みの苦しみの？があったからこそだし、やはり「場」のチカラってあるんだなあと感じました。

どんな事をするのか？は、もう少しブラッシュアップしてからお話することとします。

なかなか厳しい時期です。まだ何かが出来る、何か動かしていけるというには早いかもしれませんが、でも、こうやって集まって、共有することで、刺激やヒントをお互いに情報交換しながら、自社の仕事のヒントやモチベーションアップに。そして自社の強みに気づくことに繋がればと思っています。ありがとうございました。(占部)



事務局だより

◎ 組合のうごき

7月	5日	産業戦略デザイン室会議	Web会議
	21日	常任役員会	東京
	27日	2021印刷産業夢メッセ第4回三役会	印刷会館
8月		<del>常任理事会、拡大理事会、支部長会</del> <del>24日 夢メッセ・出展者説明会・報道発表</del> ※9月に開催予定	<del>印刷会館</del>

訃報

松橋印刷株式会社 取締役会長 松橋 弘己様(享年92歳)が令和3年6月20日かねてより病氣療養中でしたが、介護むなしく永眠されました。謹んでご冥福をお祈りします。

9月は「印刷の月」

メモ帳配布は、各支部長にお任せ！

今年の「メモ帳配布」は、昨年同様コロナ禍で「3密」を守ることにし、手渡しは受け取る側の立場になると拒否をせざるを得ない状況にあるので、例年の八丁堀交差点付近においての配布は中止いたします。

代わりに、組合員には例年通り支部長を通じてお配りしますので、ご活用ください。

付加価値の創造&提案

すべては、お客さまのお役に立つために

広島日宝製本(株)

〒731-3168  
広島市安佐南区伴南2-5-40  
TEL(082)849-5060  
FAX(082)849-5052